

【令和元年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業実績】

特定防衛施設周辺整備調整交付金が活用されています。

特定防衛施設周辺整備調整交付金とは、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、防衛施設周辺住民の生活環境や福祉等の向上のため国から市町村に交付される交付金で、本町は、矢白別演習場を抱えていることから毎年交付されています。令和元年度は1億7,535万円が交付され、粗大ごみ破碎機や学習用コンピュータ機器を購入したほか、浜中診療所及び町立保育所の維持運営費に充当するため基金を積み立てるなど、住民福祉や教育、生活環境などの向上に役立てられています。

令和元年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

(単位:千円)

事業名	事業費	左の内交付金額	事業内容等
粗大ごみ破碎機購入	60,115	59,350	既存の粗大ごみ破碎機は、刃の摩耗やエンジンの損傷が著しく、破碎作業に支障をきたしていたため、安定した破碎作業が行えるよう新しく粗大ごみ破碎機1台を購入しております。
学習用コンピュータ機器購入 (浜中・茶内中学校)	24,840	23,000	教育用コンピュータ機器を更新し、処理速度を向上させ、安定した質の高いIT教育環境の整備を目指しております。
特定防衛施設周辺整備調整交付金基金 事業積立金 (保育所維持運営分)	57,000	57,000	町立保育所維持運営に充てるため基金として積立てるもので、令和元年度は、基金残高の内57,000千円を取り崩し保育所の維持運営経費に充当しております。
特定防衛施設周辺整備調整交付金基金 事業積立金 (診療所維持運営分)	36,000	36,000	浜中診療所維持運営に充てるため基金として積立てるもので、令和元年度は、基金残高の内36,000千円を取り崩し診療所の維持運営経費に充当しております。